

平成18年
10月31日

病害虫発生予報 11月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

5月29日から全ての農作物に残留農薬基準が設定されました！！

薬剤散布の際は周囲への飛散に十分注意しましょう

< 目次 >

. 今月の予報

【注意すべき病害虫】

秋冬ハクサイ：白斑病	1
冬レタス：菌核病	1
イチゴ：うどんこ病，炭そ病	2
促成ピーマン：うどんこ病	2

【その他の病害虫】	3
秋冬ハクサイ，アブラナ科野菜共通，冬レタス，秋冬ネギ，イチゴ，促成ピーマン，共通害虫	

. 病害虫ミニ情報

農薬登録速報(9月)の概要	4
平成18年の主な水稻病害虫の発生経過について	7

. 今月の気象予報

. テレホンサービス

029(226)5321, 6131

農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用基準，注意事項等を確認してください。

詳しくは，病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445

予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・今月の予報
【注意すべき病害虫】

秋冬ハクサイ

1. 白斑病
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	多い	県下全域

[予報の根拠]

10月下旬現在，発病度，発生地点率ともに平年より高い。
気象予報によると，向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想され，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

今後の天候に注意を払い，降雨が続く場合には適宜防除を実施する。
薬剤散布は，薬液が葉裏や株元にもかかるよう丁寧に行う。
収穫間近の作型については，特に収穫前日数に注意して薬剤を選択する。
肥切れ，排水不良等は発生を助長するので，適切な肥培管理，排水対策等を行う。

冬レタス

1. 菌核病
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

10月下旬現在，発生地点率は平年よりやや高く，発病株率は平年並である。
気象予報によると，向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想され，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

発生を認めた場合は，速やかに発病株を抜き取り，防除を徹底する。
薬剤散布は，薬液が葉裏や株元にもかかるよう丁寧に行う。
収穫間近の作型については，特に収穫前日数に注意して薬剤を選択する。
収穫後は，菌核を圃場に残さないよう被害残さを圃場外へ持ち出し，適正に処分する。

イチゴ

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い~多い	県下全域

[予報の根拠]

10月下旬現在，発病葉率，発生地点率ともにやや高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は高いと予想され，ハウス内は発生を助長する条件になる。

[防除上注意すべき事項]

発生初期の防除を徹底する。特に、「とちおとめ」はうどんこ病に罹病しやすいため，注意する。

薬剤は，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。

薬剤耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。

2. 炭そ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	やや多い~多い	県下全域

[予報の根拠]

10月下旬現在，発病株率，発生地点率とも平年よりやや高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は高く，降水量は平年並か多いと予想され，ハウス内は発生を助長する条件になる。

[防除上注意すべき事項]

発病株は抜き取ってハウス外に持ち出し，新たな感染源とならないようにする。

促成ピーマン

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	鹿行地域

[予報の根拠]

10月下旬現在，発病度，発生地点率ともに平年よりやや高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は高いと予想され，ハウス内は発生を助長する条件になる。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると防除が困難になるため，初期防除を徹底する。

薬剤は，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。

薬剤耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。

薬剤散布の際は，周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意して行うこと。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
秋冬ハクサイ	軟腐病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
	べと病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
	黒斑病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
野菜共通 アブラナ科	コナガ	発生量：平年並	10月下旬現在，ハクサイで平年並の発生である。また，フェロモントラップ（八千代町）への誘殺数は平年並である。
冬レタス	腐敗病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
秋冬ネギ	さび病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
	べと病	発生量：平年並	10月下旬現在，平年並の発生である。
	黒斑病	発生量：やや少ない	10月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。
イチゴ	じゃのめ病	発生量：やや多い	10月下旬現在，平年よりやや多い発生である。発生初期の防除を徹底する。
	輪斑病	発生量：やや多い	10月下旬現在，平年よりやや多い発生である。発生初期の防除を徹底する。
	アブラムシ類	発生量：やや多い	10月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
	ハダニ類	発生量：平年並 ～やや多い	10月下旬現在，平年並の発生である。ビニール被覆後は，ハウス内が発生を助長する温度条件となるため，発生初期の防除を徹底する。

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
促成ピーマン	ハダニ類	発生量：やや多い	10月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
	ヒラズハナアザミウマ	発生量：やや多い	10月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
共通害虫	ハスモンヨトウ	発生量：平年並～やや多い	10月下旬現在，イチゴで平年よりやや多い発生である。また，フェロモントラップへの誘殺数（筑西市）は平年並である。
	オオタバコガ	発生量：平年並	10月下旬現在，レタスで平年並の発生である。また，フェロモントラップ（水戸市）への誘殺数は平年並である。

・病害虫ミニ情報

農薬登録速報（9月）の概要

平成18年9月期間中（9/1～9/30）に新規・変更登録のあった農薬は，以下のとおりです。
なお，農薬の使用にあたっては，必ずラベル等を確認してください。

殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・殺そ剤等

新規> GFオルトランカプセル，GFオルトラン液剤，STサブロール乳剤，STラブバリダトレボン粉剤DL，アーリーセーフ，カルビオ，シバニードシャワー，ナリアSE，ナリアWDG，バイエルフルサポート箱粒剤，モンガリット1キログラム粒剤，家庭園芸用GFオルトラン粒剤，協友アミスターエイト，協友アンビルフロアブル，協友バイジット乳剤，日曹ナリアSE，日曹ナリアWDG
変更>〔DIC〕ベフキノン水和剤，〔DIC〕ベフランシードフロアブル，〔DIC〕ベフラン液剤25，Dr.オリゼダントツ箱粒剤，Dr.オリゼプリンス粒剤10，Dr.オリゼプリンス粒剤6，Dr.オリゼ箱粒剤，アグレプト液剤，アディオオン乳剤，アベンティスビルダープリンス粒剤，イミノクタジン酢酸塩液剤，エスマルクDF，オキシラン水和剤，オリザトップパック，オルトラン水和剤，オルトラン粒剤，ガードベイトA，カスミンボルドー，銅シン水和剤，カヤククロールピクリン，クオークフロアブル，クミアイアタックオイル，クミアイカーゼートPZ水和剤，クミアイコテツフロアブル，クミアイフルサポート箱粒剤，クミアイベフラン液剤25，クミアイベルコート水和剤，クミアイペンコゼブ水和剤，クミアイペンコゼブ顆粒水和剤，グラステン水和剤，グリーンペンコゼブ水和剤，クルセイダーフロアブル，クロピク80，コテツフロアブル，コロマイト水和剤，サマーマシン97，サンクリスタル乳剤，サンケイアディオオン乳剤，サンケイダズバン粒剤，サンケイベフラン液剤25，サンケイベルコート水和剤，サンリット水和剤，スコア顆粒水和剤，ストロビーフロアブル，スミソン乳剤，スリパンス，セイビアフロアブル20，ダズバン粒剤，ダイブフロアブル，ダントツH粉剤DL，ダントツオリゼメート24箱粒剤，チェス水和剤，チェス粒剤，

テーク水和剤，デュポンカーゼートPZ水和剤，ドジョウピクリン，
トモノールS，ドロクロール，バイオマックスDF，バシタックベフラン水和剤，
バシタックベフラン粉剤DL，バナーマックス液剤，ビームモントレランナー粉剤5DL，
ビルダープリンス粒剤，フェスティバルM水和剤，ブリザード水和剤，フルサポート箱粒剤，
プレオフロアブル，ベニカDX，ベフキノ水水和剤，ベフランシードフロアブル，
ベフラン液剤25，ベルコート水和剤，ホクコーDr．オリゼプリンス粒剤10，
ホクコーDr．オリゼプリンス粒剤6，ホクコーDr．オリゼ箱粒剤，
ホクコーアディオン乳剤，ホクコーオルトラン水和剤，ホクコーオルトラン粒剤，
ホクコージマンレックス水和剤，ホクコービルダープリンス粒剤，
ホクコーフェスティバルC水和剤，ホライズンドライフロアブル，
マイトクリーン，マイトコーネフロアブル，マッチ乳剤，
マトリックフロアブル，メリーネコ1号，モスピラン粒剤，
ヤシマアディオン乳剤，ヤシマコテツフロアブル，
ヤシマベフラン液剤25，ヤシマベルコート水和剤，ヤシマロブラール水和剤，
ラテラ粉剤DL，ラビサンスプレー，ランネット45DF，リーズン顆粒水和剤，
リゾレックスベフランフロアブル，リゾレックスベフラン水和剤，
リゾレックスベフラン粉剤DL，リドミルMZ水和剤，
ローヌ・プーランドr．オリゼプリンス粒剤10，
ローヌ・プーランドr．オリゼプリンス粒剤6，ロブラール水和剤，
家庭園芸用オルトラン粒剤，家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤，
家庭園芸用武田オルトラン粒剤，金鳥アディオン乳剤，
三井東圧クロールピクリン，三共アタブロン乳剤，
三共アディオン乳剤，三共カーゼートPZ水和剤，三共グリーンペンコゼブ水和剤，
三共ベフランシードフロアブル，三共ベフラン液剤25，
三共ベルコート水和剤，三共ペンコゼブ水和剤，三共ペンコゼブ顆粒水和剤，
三共マトリックフロアブル，住化ジマンレックス水和剤，
石原アタブロン乳剤，南海クロールピクリン，日産ストロビーフロアブル，
日産ダズバン粒剤，日産ホライズンドライフロアブル，日産ロブラール水和剤，
日曹コテツフロアブル，日曹ストロビーフロアブル，日曹ベフキノ水水和剤，
日農オマイト水和剤，日農スプレーオイル，日農ブリザード水和剤，
日農モスピラン粒剤，武田オルトラン水和剤，武田オルトラン粒剤，風神フロアブル，
有機リドミルMZ水和剤

除草剤等

新規> BASF レナパック顆粒水和剤，SDSシロノック1キロ粒剤51，
SDSシロノック1キロ粒剤75，クサトリエース粒剤17，
ゴウワンLジャンボ，シリウスいぶき1キロ粒剤，
シリウスいぶきジャンボ，シリウスいぶき顆粒，シリウスターボジャンボ，
シロノック1キロ粒剤51，シロノック1キロ粒剤75，
デュポン レナパック顆粒水和剤，ホームランキングLジャンボ，
ホクコーホームランキングLジャンボ，ホクコーレナパック顆粒水和剤，
ラウンドアップKロード，ラウンドアップマックスロード，レナパック顆粒水和剤，
三共シロノック1キロ粒剤51，三共シロノック1キロ粒剤75
変更> DASTリプルスター1キロ粒剤，GFベンポール粒剤，HCCキックバイ1キロ粒剤，
SDSイッテツ1キロ粒剤，SDSキックバイ1キロ粒剤，SDSボス1キロ粒剤，
アージラン液剤，アクチノール乳剤，イッテツ1キロ粒剤，キックバイ1キロ粒剤，
クサカリテイオー1キロ粒剤51，クミアイサキドリEW，ゴヨウダジャンボ，
サキドリEW，サンダーボルト007，シャドー水和剤，ショウリョクジャンボ，
デュポンロックス，ドニチS1キロ粒剤，トリプルスター1キロ粒剤，

バイエルイノーバD Xアップ1キロ粒剤5 1 , ブイゲットダイナマン粒剤 ,
ブロンコ , ホクコーミスターホームランフロアブル , ホクコーリードゾン粒剤 ,
ボス1キロ粒剤 , ポルトフロアブル , ミスターホームランフロアブル ,
モニュメント顆粒水和剤 , ヤシマキックバイ1キロ粒剤 , ヤシマボス1キロ粒剤 ,
ヤシマ草笛ジャンボ , ヤシマ草笛フロアブル , ラウンドアップハイロード ,
ラクダープロ1キロ粒剤7 5 , リボルバー1キロ粒剤 , 科研草笛ジャンボ ,
科研草笛フロアブル , 協友イッテツ1キロ粒剤 , 協友草笛ジャンボ , 協友草笛フロアブル ,
黒帯1キロ粒剤 , 黒帯フロアブル , 三井東圧クサカリテイオー1キロ粒剤5 1 ,
三共ラクダープロ1キロ粒剤7 5 , 石原M C Pソーダ塩 , 石原アージラン液剤 ,
草ノコラース , 草笛ジャンボ , 草笛フロアブル , 日産M C Pソーダ塩 , 日産草笛フロアブル ,
日曹アクチノール乳剤 , 日農ボス1キロ粒剤

植調剤等

変更> カヤカルパー粉粒剤1 6 , カルパー粉粒剤1 6 , ビオロックフロアブル ,
石原エスレル1 0 , 日産エスレル1 0 , 理研バイオロックフロアブル

展着剤

変更> クイックタッチ , ハイテンパワー

その他

変更> ツリーセーブ

失効農薬

[DIC] ビーノス1キロ粒剤 , J AパットフルAジャンボ , アグロスE P N乳剤 , エルピー硫酸銅 ,
オフナックバッサ粉剤D L , キタトレボン粉剤D L , クミアイモンセレン水和剤 ,
クミアイモンセレン粉剤D L , コラトップパック , サンケイバサグラン液剤 (ナトリウム塩) ,
サンケイバサグラン粒剤 (ナトリウム塩) , シオノギ・ポラリス液剤 ,
シオノギ・ロブラールくん煙剤 , ゼネカ・ビーノス1キロ粒剤 , ツービットD F ,
デュボンパットフルA 2 5 0グラム , デュボンパットフルAジャンボ , トルベッチ6 6 E W ,
バイエルバサジット粒剤 , バイエルヒノトレボン乳剤 ,
バイエルヒノラブバイマク粉剤3 5 D L , パットフルA 2 5 0グラム , パットフルAジャンボ ,
ビーノス1キロ粒剤 , ファインケム油剤D , ポロポンV , ミカサトリフミンスターナS E ,
モンセレン粉剤D L , ヤシマモンセレン水和剤 , ラビコート , 三共コラトップパック ,
三共マラバッサ粉剤D L , 三共モンセレン粉剤D L , 特製リノー ,
日農バサグラン液剤 (ナトリウム塩) , 日農バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)

農薬の登録失効は ,同一成分の農薬においても販売メーカー毎になりますので ,ご注意願います。

平成 18 年の主な水稻病害虫の発生経過について

本年の主な病害虫の発生経過を振り返り、今後の防除の参考として下さい。

1. 初期害虫

イネミズゾウムシ: 4月の気温が低めに推移したため、越冬後の成虫の活動開始時期は遅く、本田での発生時期も平年よりやや遅くなり、6月上旬がピークとなりました。発生量は平年並でした。

イネドロオイムシ: 幼虫の発生時期は平年並の6月上旬～下旬で、6月の日照時間が少なく、発生に適した条件であったため、発生量は平年より多くなりました。

本年これらの初期害虫の発生が多かった水田では育苗箱施薬を実施してください。

2. いもち病

6月の日照時間は平年より少なく、気温は高めに推移したことから、発生を助長する条件となりました。このため、初発は6月中～下旬と平年よりやや早く、例年葉いもちの発生が少ない県南、県西地域でも6月下旬～7月上旬には広い範囲で発生が確認されました。7月の日照時間は少なく、気温は低く推移し、特に梅雨明けは7月30日と平年より10日程度遅くなったため、病勢は進展し、全県的に葉いもちの発生量は平年より多く推移しました(図1, 2)。しかし、梅雨明け後は晴天が続いたため、病勢は衰え、穂いもちの発生量は平年並となりました。本年発生が多かった水田では、育苗箱施薬の実施を検討してください。また、施肥量も検討して下さい。

3. 斑点米カメムシ類

水田では主にクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシの発生が確認されました。クモヘリカメムシは県北部の発生が中心でしたが、近年は県南地域の平野部でも発生が確認されています。これらの斑点米カメムシ類は、水田周辺のイネ科雑草に生息した後、水稻の出穂とともに水田に侵入してきます。本年はイネ科雑草地での発生量は平年並でした。水田での発生量は、成虫の飛来により出穂後の8月上旬に増加し、その後水田で幼虫が発生し、8月下旬にさらに増加しました。県全体の水田での発生量は、一部で多発ほ場も認められましたが、平年並でした(図3, 4)。黄熟期の加害でも斑点米発生の原因となるため、穂揃期の防除に加えて、幼虫を対象とした8月中旬から下旬の防除も大切です。

4. その他の病害虫

ニカメイガ: 発生が多い水田が確認されていますが、巡回調査における県全体の発生地点率は5%程度です。第1世代幼虫による加害は主に7月上旬、第2世代幼虫による加害は主に8月上～中旬に観察されました。発生が目立った水田では育苗箱施薬で第1世代幼虫を防除して下さい。また、老熟幼虫が稲ワラ等で越冬するため、稲ワラはすき込む等、適切に処分して下さい。本田で薬剤散布を行う場合は、適期の散布が大切です。

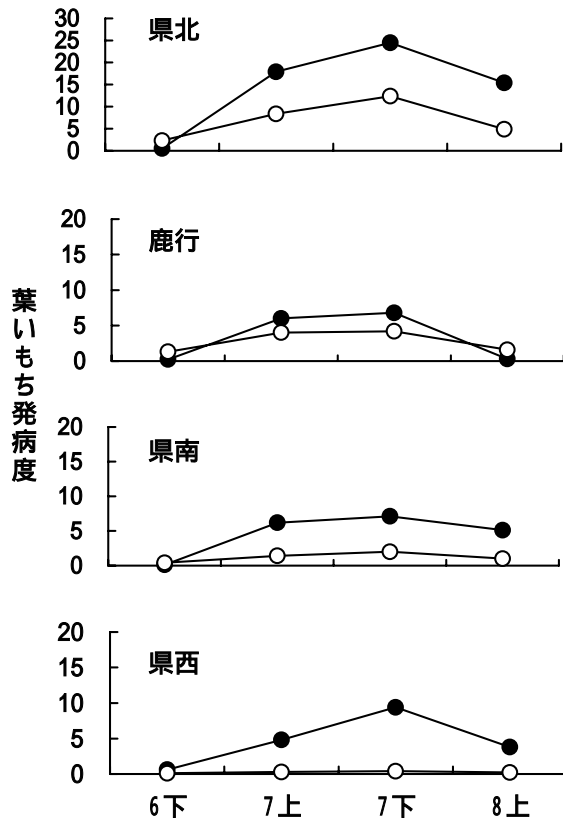


図1 葉いもち発病度の推移(6月下旬～8月上旬)
:本年 :平年 を示す

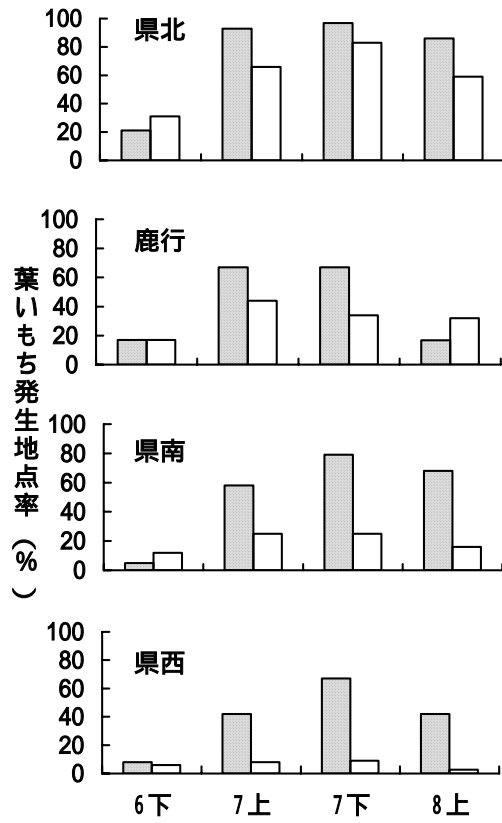


図2 葉いもち発生地点率の推移
:本年 :平年 を示す

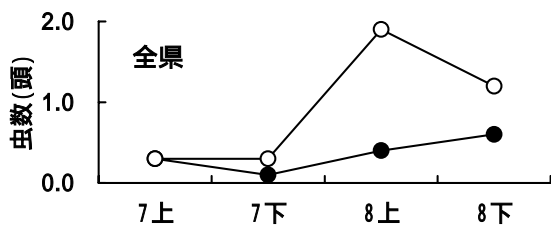


図3 水田における斑点米カメムシ類
10回振りすくい取り虫数の推移
:本年 :平年 を示す

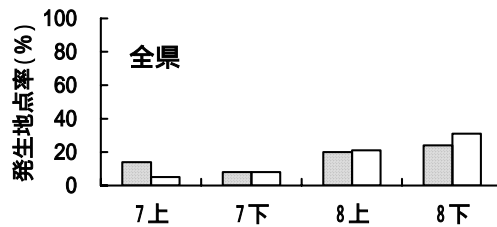


図4 水田における斑点米カメムシ類
発生地点率(%)の推移
:本年 :平年 を示す

・ 今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 10月28日から11月27日)

気象庁(10月27日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	20	30	50
降水量	関東甲信全域	30	30	40
日照時間	関東甲信全域	30	30	40

[概要]

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

< 1週目の予報 > 10月28日(土曜日)から11月27日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率50%

< 2週目の予報 > 11月4日(土曜日)から11月10日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率40%

< 3週目から4週目の予報 > 11月11日(土曜日)から11月24日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並または高い確率ともに40%

・ テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号: 029(226)5321, 6131

11月上旬 施設野菜病害虫の発生予想と防除対策について(1)

11月下旬 果樹の落葉処理と休眠期防除について

12月上旬 施設野菜病害虫の発生予想と防除対策について(2)